

学校の教育目標	自律 敬愛 探求
---------	----------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 課題解決のために、情報を収集し、整理・分析し、それをまとめる力を育てる。
- 2 基礎基本を身に付け、それらを活用し、相手にわかりやすく伝える工夫や表現力を育てる。
- 3 課題解決に向けて計画的に取り組もうとする態度を育てる。
- 4 コミュニケーション能力を高め、活動に協働して取り組む態度を育てる。
- 5 地域社会や世界に貢献しようとする態度を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能		
第1学年	第2学年	第3学年
家庭学習を習慣付けるとともに、定期考査に向けての学習計画が立てられる。	予習→授業→復習(家庭学習)のサイクルを習慣付ける。	長所を伸ばし短所を克服する努力をすることで自分の存在意義を見出す。
思考力・判断力・表現力等		
第1学年	第2学年	第3学年
・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす。	・必要な情報を収集し多角的に分析する。 ・相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。	・多岐にわたる状況の中から適切に課題を設定する。 ・課題解決を目指して事象を比較し、因果関係を推察する。
学びに向かう力・人間性等		
第1学年	第2学年	第3学年
・自らの行為について責任をもち、意思決定する。 ・互いの特徴を生かし、尊重しあう。	・自らの生活のあり方を見直し、日常的に実践する。 ・環境保全を考えて行動する。	・目標を明確にし、課題解決に向けて計画的に行動する。 ・課題解決に向けて社会活動に参画する。

内容	学習対象	学習事項
第1学年	・様々な障害とその障害を抱えながらの生活 ・働くことの意味や働く人の夢や願い ・都内の名所調べ	・障害への理解と困っている人々への支援を体感・感得する。 ・豊かな地域社会を理解し、自己をとりまく社会の仕組みを知る。 ・情報収集・整理・まとめる力を養う。
第2学年	・住居地域以外の地域の農業や生産者との関わり ・働くことの意味や職業を選択するための情報収集 ・上級学校に進む意義とそれぞれの特徴	・社会生活の一般常識、基本的生活習慣、協調性を会得する。 ・働くことのやりがいや意義・地元を支える人々への感謝を学ぶ。 ・上級学校に進む意義と特長を理解する。
第3学年	・鹿本学園との交流学习 ・進路の選択と自己理解 ・関西方面の地域的特徴、歴史、文化	・様々な人々への理解を深め社会の一員として自分の在り方を自覚する。 ・自己の良さや可能性を追求し、進路選択・実現に向けて学ぶ。 ・文化・伝統への理解と協働的な学習の確立を図る。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年統一学習テーマ「共に生きる」「生き方」「課題追及」 ・学習テーマをもとに生徒の成長に合わせて継続的に学習を深めていく。 ・進路学習については、「生き方」の学習を中心に3学年にわたって展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動、協働的な学習活動の充実 ・教科との関連的な指導の重視 ・体験活動の重視 ・使用教材の工夫と精選 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力の効果的な活用 ・進路学習部を中心とした情報の集積と活用 ・3か年を通した指導の精選と一本化 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実 ・学期末、学年末における指導計画の評価と改善